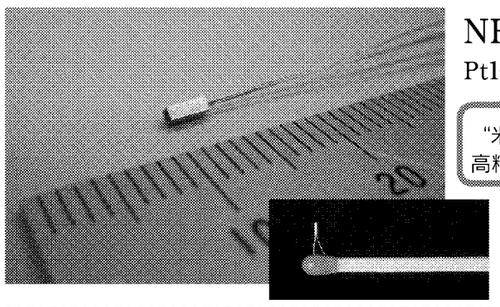
NETSUSHIN

"世界最小級" 表面測定用白金測温抵抗体

高速・高精度温度計測の超極小Ptセンサーがデビュー!!



NR-10103（表面ブロックW1.0㎜×H1.0㎜×L3.0㎜）

Pt100Ω白金抵抗素子　MC-0401　（外径φ0.4㎜、長さ1.5㎜）使用

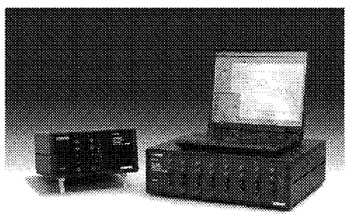
特徴
"米粒"とほぼ同じ大きさ！
高精度でレスポンスが極めて速い!!

仕様

型式	NR-251-10103
抵抗値	Pt100Ω (at 0℃)
階級	JIS A級、B級
規定電流	0.5mA or 1mA
使用温度範囲	200℃
表面ブロック材質	SUS/Al/Cuなど

聞いたことありますか？？？　温度センサーのメーカーが作った温度計測器って…?!

『次世代温度計測器　NX-3100&1200』



"多点計測""高速度""高精度"の三大要素を"同時"に実現!!
今まで…見えなかった?!
わからなかった?!
測れなかった?!
などの問題を即解決☆

詳しくは、弊社営業までお問い合わせください。

主な仕様

	スペック	
温度レンジ	0～50℃	-50～160℃
計測スピード	0.5秒～（同時計測）	
精度	±3mK	±5mK
チャンネル数	8ch（最大16ch）	
温度計	白金測温抵抗体（4導線式）	

温度センサー、温度計測のことなら何なりとご相談ください。

Ptセンサーのトップメーカー
株式会社ネツシン
本社工場・標準室　〒354-0045　埼玉県入間郡三芳町上富 2079-7
TEL：049-259-0101　FAX：049-258-2424
E-mail：eigyo@netsushin.co.jp　http://www.netsushin.co.jp
'06ものづくり中小企業300社　'06モノづくり部品大賞奨励賞受賞　'07優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞　'08埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞　'10モノづくり部品大賞奨励賞受賞

計量法校正事業者登録制度（ＪＣＳＳ）は、計量法の関連条項および国際規格ＩＳＯ／ＩＥＣ１７０２５に基づき校正事業者を登録・認定することにより、産業界へ信頼性の高い「計量トレーサビリティ」の維持・提供を行うことを目的とした制度で、創設から17年が経過した。ＪＣＳＳ校正事業者の登録・認定を行っているのは、独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）の認定センター（IAJapan）である。IAJapanはＪＣＳＳのみならず、日本国内の産業における計測・計量の信頼性の確保や向上を目指し、国際規格・指針に基づいて試験所・校正機関などを認定する中核機関として、重要な役割を担っている。

確かな計量トレーサビリティをサポートする　ＪＣＳＳ

執筆＝製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）認定センター（ＩＡＪａｐａｎ）

計量法校正事業者登録制度　ＪＣＳＳとは

ＪＣＳＳは、１９９３年11月１日に施行された改正計量法のもとで創設された、国家計量標準にトレーサブルな標準器・計測器を用いて校正サービスをする校正事業者を、校正機関・試験所の能力に関する国際的な認定基準であるＩＳＯ／ＩＥＣ１７０２５に基づいて審査・認定する制度である。

今までに２回の法改正が実施され、企業や工場の参照標準レベルのみならず、作業現場で使用される計測器レベルまでの校正ニーズに対応した制度となっている。また05年７月からは、４年ごとに登録を更新する制度に変更されている。

詳細については、ＩＡＪａｐａｎホームページにて公表されているＪＣＳＳパンフレット、「ＪＣＳＳ登録の一般要求事項」などをはじめとする各種文書をご覧いただきたい。

計量標準供給の現状　ＩＡＪａｐａｎの役割

ＩＡＪａｐａｎは、各方面からの基準認証に関する基盤整備の要請に応え、ＪＣＳＳのほか、計量法特定計量証明事業者認定制度（ＭＬＡＰ）、工業標準化法試験事業者登録制度（ＪＮＬＡ）、製品評価技術基盤機構認定制度（ＡＳＮＩＴＥ）などの各種登録・認定プログラムを運営している。このほか化学分析などにおける計量トレーサビリティ情報提供の一環として、国内外の標準物質に関する情報を集約させた標準物質総合情報システム（ＲＭｉｎｆｏ）も運営している。

ＪＣＳＳは、計量法関係法令で規定する国家計量標準の供給体制が整備された校正事業の区分ごとに、試験所・校正機関の能力に関する国際規格ＩＳＯ／ＩＥＣ１７０２５に基づいて認定・登録される。

ＪＣＳＳ校正事業者の発行するＪＣＳＳ標章付き校正証明書は、校正を受けた計量器または標準物質が日本の国家計量標準にトレーサビリティがとれ、かつ確かな技術力に裏打ちされた信頼できる測定データであることを、簡潔かつ明確に証明できる。

計量法では国家計量標準へのトレーサビリティが要求されている。ＪＣＳＳは登録審査の過程で計測のトレーサビリティがとれていることを確認しているため、ＪＣＳＳ標章付き校正証明書があればトレーサビリティ体系図は必要ない。工場・企業などでＩＳＯ９００１、ＩＳＯ／ＴＳ１６９４９、ＩＳＯ２２０００などへの認証を取得する際の適切な社内計測器の管理体制整備には、信頼の高いＪＣＳＳ校正事業者から校正を受けることをお勧めする。

ＪＣＳＳにおいては93年度の認定開始以来、今年２月15日現在で２３５事業所が登録・認定されている（**図１**参照）。特に01年度以降は、法改正に伴う階層制の導入、産業技術総合研究所（産総研）計量標準総合センター（ＮＭＩＪ）における計量標準整備計画の着実な進展とともに登録・認定数が増加している。

どのような校正事業者が登録され、所在地はどこにあるのか、どんな校正ができるのかなどは、ＩＡＪａｐａｎホームページのＪＣＳＳ登録区分別事業者検索システムにより、事業区分別、都道府県別で検索ができるのでぜひご利用いただきたい。現在、２００種類の計量器などが登録対象となっており、登録の区分別では延べ３２１事業所が登録・認定されている（**図２**参照）。

なお、現時点でＪＣＳＳでは対応できない測定設備の校正ニーズについては、ＡＳＮＩＴＥで校正事業者を認定できるよう体制を整えているので、まずはご相談いただきたい（電子メールはjcss@nite.go.jp）。

（次ページ下段に続く）

図１　JCSS登録事業所数の推移

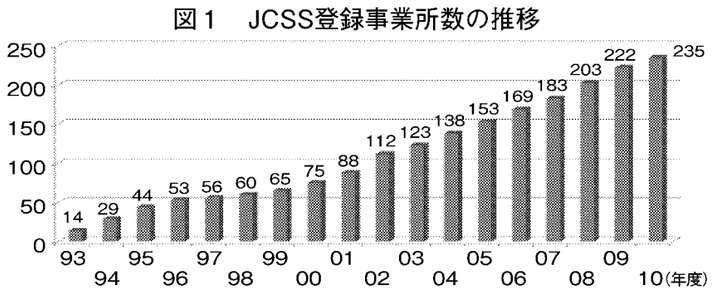
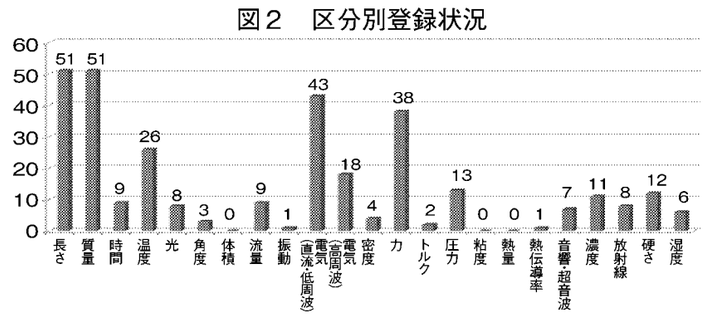


図２　区分別登録状況



◇ＪＣＳＳ登録区分別事業者検索システム　http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/lab/index.html　◇ＩＡＪａｐａｎホームページ　http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/

今、品質保証に求められるものは、しっかりとした校正試験。

JEMICは信頼と技術でお応えします。

企業ニーズに応えるネットワークと、永年にわたる研究を基盤とする実績。校正試験のことなら、JEMIC にご相談ください。

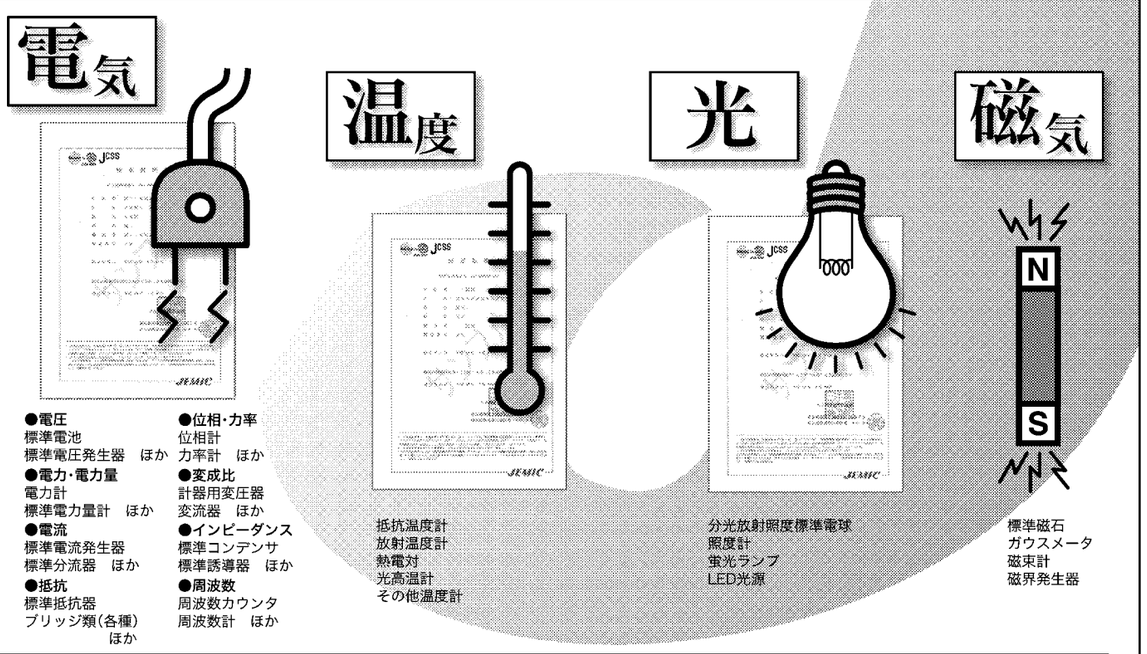
正確な計測管理を必要とする製品の生産には、校正試験は不可欠です。
JEMIC は、国家標準にトレーサブルな標準器を用いて、高精度で広範囲な校正サービスを行っていますので、ISO9000シリーズやISO14000シリーズ等の規格を運用されている企業様に、安心して御利用いただけます。

JEMICは、電気・温度・光・時間（周波数）についてJCSS校正を行っています。

「JCSS」ロゴマーク付きの校正証明書はISO/TS 16949等の規格の要求に対応できます。

JEMICイメージキャラクター「ミクちゃん」

●JEMICでは、平成21年度からLED光源の一般校正を開始しました。項目は、CIE平均化LED光度、LED全光束、LED色度で、白、赤、緑、青の4色です。
●高調波測定も実施しています。
●ISO/IEC 17025 内部監査員研修や不確かさなどのセミナーも開催しています。



標準器・計測器の校正試験についてはこちらへお問い合わせください

信頼と技術の JEMIC

日本電気計器検定所
本社　〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-7 Tel.(03)3451-1181(代) Fax.(03)3451-1364
[校正試験窓口]　Tel.(03)3451-6760 Fax.(03)3451-6910 http://www.jemic.go.jp/

中部支社	〒487-0014	春日井市気噴町3-5-7	Tel.(0568)53-6331	Fax.(0568)53-6332	[校正試験窓口] Tel.(0568)53-6336
関西支社尼崎事業所	〒661-0974	尼崎市若王寺3-12-20	Tel.(06)6491-5031	Fax.(06)6491-5034	[校正試験窓口] Tel.(06)6491-5052
九州支社	〒815-0032	福岡市南区塩原2-1-40	Tel.(092)541-3031	Fax.(092)541-2979	[校正試験窓口] Tel.(092)541-3033